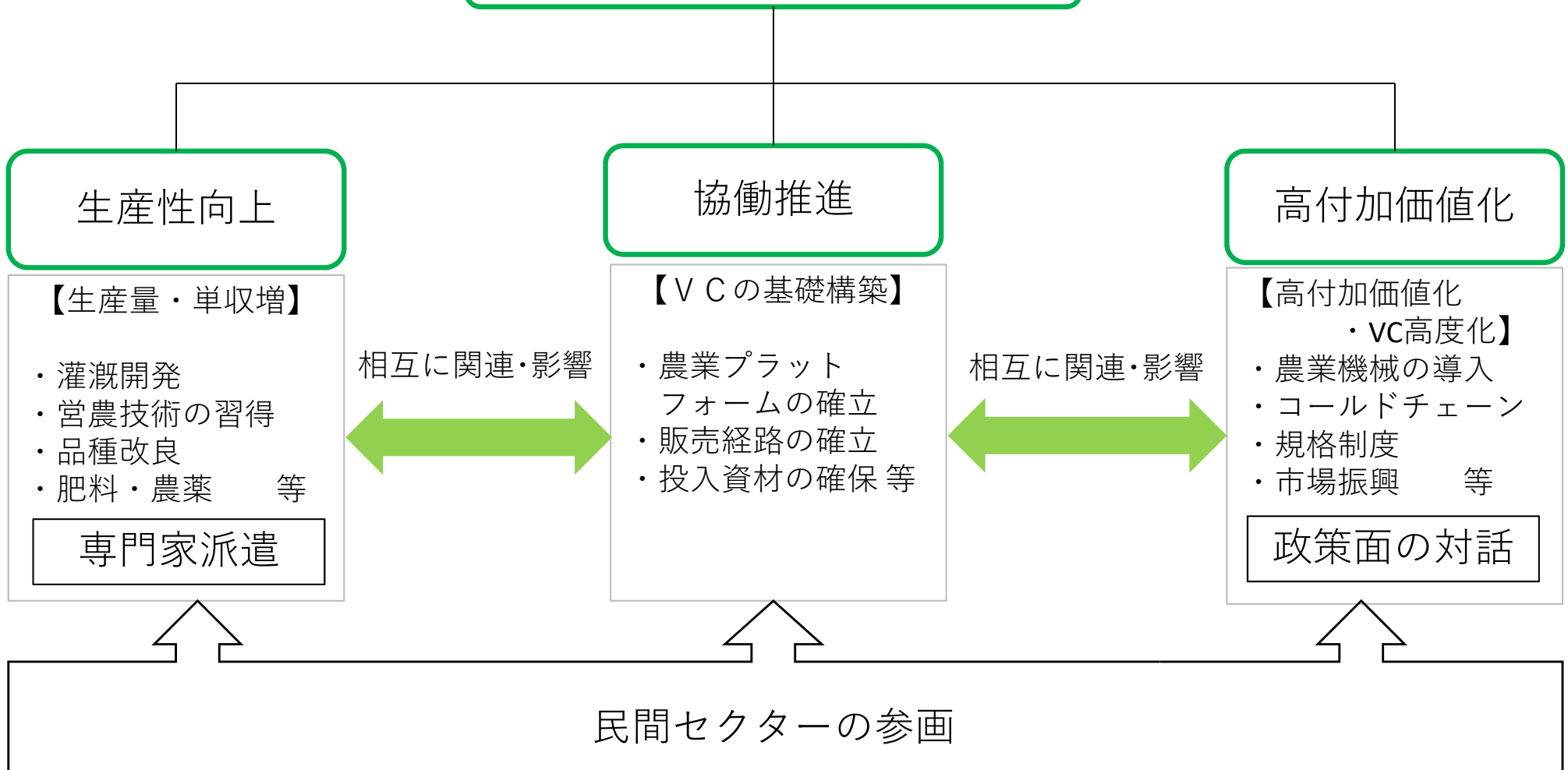


アフリカにおける農業分野の協力（全体像）

資料 1

- アフリカにおける農業分野の協力ニーズは、生産から消費まで多岐にわたる。
- これまでは、主に生産性向上に着目して協力を実施。
- 生産と、流通・販売をバリューチェーンとして繋いでいく上で、農業者の協働推進が課題。
- また、国・地域ごとの状況に応じた高付加価値化を進めていく必要。

農業分野の協力の3つの視点



フードバリューチェーン構築に関する協力のポイント（アフリカ地域）

これまでのアフリカにおける農業分野における日本の開発協力は、食料増産や貧困削減のため灌漑開発（CARD支援）や作付品種の多様化（SHEP支援）など生産分野を中心に実施してきた。

今後、農産物の高付加価値化を図るため、農業プラットフォームを構築しつつ生産資材の普及、加工調製施設や流通分野の支援も拡大する。併せて各分野における本邦企業の進出を支援する。

